

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1136	(H.24)No.	1136
-----------	------	-----------	------

事務事業名 学校図書館運営支援員配置事業(緊急雇用創出事業:教育総務室)			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	教育総務室	今井寛	63-7849
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~ 平成 24 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	463401
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	学校図書館運営支援員配置事業
項	教育総務費	(小事業名)
目	教育振興費	学校図書館運営支援員配置事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>緊急雇用創出事業を活用して平成23年度までは学校図書館充実支援員を雇用し、破損した図書や図書のデータベース化を図りました。平成24年度は運営支援員を配置して図書データの入力を含め学校図書館の活発な運営の支援を図ります。</p> <p>平成23年度まで、学校図書館充実支援事業(緊急雇用創出事業)の予算を、教育総務室(シート 1136)と学校教育室(シート 1137)の2つの事業に分けて予算をつけていましたが、平成24年度から事業を1つに集約し(シート 1136)、予算を統合します。</p> <p>また、平成23年度までの「学校図書館充実支援員」の配置に代えて、平成24年は「学校図書館運営支援員」を配置することとしたことから、シート 及び事業名を「1214 学校図書館運営支援員配置事業」とします。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>適切な図書を提供できる環境を全校で整えることが可能になり、活発な学校図書館の運営ができる。また、雇用創出に寄与することができる。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<p>学校図書館の整理 学校図書館充実支援員のべ9名 ・賃金(@900円) 7,721千円 ・社会保険料 1,333千円</p> <p>学校教育室シート 1137 を参照</p>	<p>学校図書館の整理 学校図書館運営支援員 6名 ・賃金(@900円) 8,540千円 ・社会保険料 1,245千円 ・消耗品費 726千円</p> <p>学校教育室シート 1137 をこの事業(シート 1136)に統合し、同時にシート 1214に改めます。</p>	補助金・交付金	その他 ()	
	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)	平成25年度以降は、この事業(シート 1214)を「学校教育室シート 1135 学校図書館教育充実事業」に統合して、学校図書館運営支援員を引き続き配置することにより学校図書館の充実に努めます。	
直接事業費	9,054千円	10,511千円			
財源内訳(千円)	国庫支出金				
	県支出金	9,054	10,511		
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0)	0	0	0	0
人工数	職員				
	臨時職員等	8.00人	6.00人		
概算人件費	(0千円)		0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 9,054千円	10,511千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	学校図書館充実(運営)支援員	人	-	5	-	6
	実績			-	6	延べ 9	延べ 9
成果指標	目標	小中学校の教育環境に満足している市民の割合	%	-	-	-	62.0
	実績			59.2	57.5	59.6	60.6
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
H21年度から充実支援員によりデータベース化を順調に進めてきたが、H24年度は運営をサポートする運営支援員なので、年度末の完全データベース化が難しい。	市費による支援員の配置を要望しながら、国の緊急雇用創出事業に代わる県事業の創設をおねがいしていきたい。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
完全データベース化後は、運営(貸出・返却等)の電算化が必要。	

8. 担当室による点検[事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	平成25年度から、学校教育室シート 1135 (学校図書館教育充実事業)に統合する。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	国の緊急雇用創出事業に代わる県事業の創設を各方面に働きかけていく。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	平成25年度から、学校教育室シート 1135 (学校図書館教育充実事業)に統合する。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 事業完了(完了予定含む)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
学校教育室シート 1135(学校図書館教育充実事業)の中で事業を継続する。

特記事項

--